



2020年6月24日

『ペットボトルの資源循環に係る協定』を締結し、
行方市におけるペットボトル回収・リサイクルを促進！

～6月24日(水)より市内のセブン-イレブン全店にて回収機の稼働を開始～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、限りある資源の有効な活用とプラスチック対策を目的としたペットボトル回収事業を実施するため、茨城県行方市と『ペットボトルの資源循環に係る協定』を締結いたします。行方市内のセブン-イレブン全店（5月末現在：9店舗）に「ペットボトル回収機」を新たに設置し、ボトルtoボトル*1によるリサイクルを促進してまいります。

今回の取り組みは、行方市とセブン-イレブン・ジャパンが締結した「包括連携協力に関する協定」*2に定める、“環境に関する連携協力”推進の具体的な施策として実施するものです。霞ヶ浦・北浦を始めとした地域の環境保全を進める行方市と、国内資源循環の取り組みを推進するセブン-イレブン・ジャパンが連携し、今回の取り組みが実現いたしました。ペットボトル回収等を通して、環境配慮の取り組みを推進してまいります。

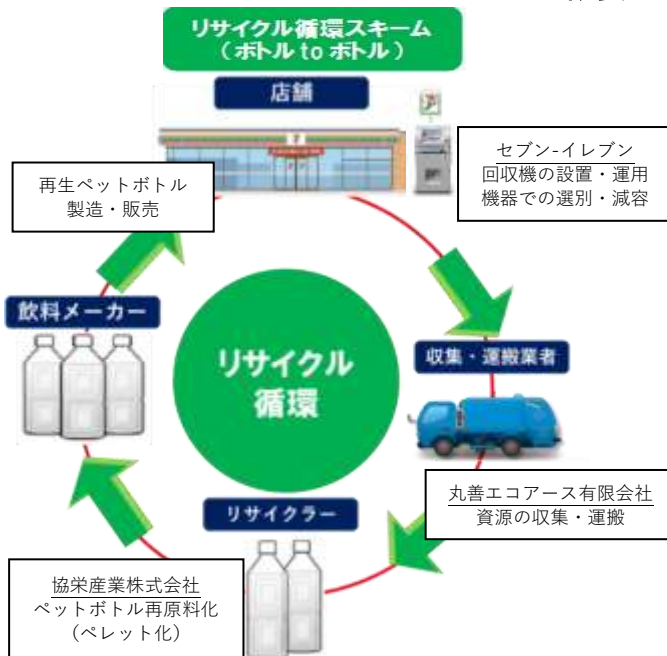
なお、茨城県内に於いて、行政とコンビニエンスストアが協力してペットボトル回収を行うのは、初めての取り組みとなります。

*1 ペットボトルを再原料化し、もう一度ペットボトルに戻すこと。

*2 「ペットボトル回収機」稼働と同日（6月24日）締結

*3 回収したペットボトルの収集・運搬は、行方市の収集運搬業者、丸善エコアース様のご協力をいただいております。

<概要>



【三者の役割】

- ・行方市
市の広報を通じた、セブン-イレブン店舗でのペットボトル回収の周知および正しい分別方法の浸透を図る。
- ・丸善エコアース株式会社
資源の収集・運搬。
- ・セブン-イレブン店舗
回収機の運用及び回収資源の管理。

【ペットボトル回収機】

開発メーカー：
株式会社寺岡精工
機器サイズ (mm)：
W650×D500×H1,330
収容量:ペットボトル約 280 本
(500ml の場合)



<ご参考>

セブン-イレブンでは、2017年より店頭への『ペットボトル回収機』の設置を開始し、現在東京都、埼玉県および沖縄県内の約350店舗（2020年5月末）で稼働しております。

以上